

学園のさらなる発展に向けて



土曜プログラム「生け花(草月流)」



第 80 号
田園調布学園
中等部・高等部
総務部

主な記事

学園のさらなる発展に向けて	1頁
二〇〇九年度(第62回)卒業生 進路報告	2頁
二〇一〇年度中等部入試状況報告	3頁
八年目を迎えた土曜プログラムと今後の展望	4頁
中等部・高等部二〇一〇年度 主要行事予定	8頁

理事長 西村 昭

大正15年の創立から本学園は84年余の時代が経過しました。昨年は政権交代によって民主党政権が誕生し、日本は今、世界的な金融不安の中からようやく脱出する糸口を見出しはじめていますが、政権が変わっても金まみれの政治は相変わらずです。公約である子供手当や高等学校等就学支援金が設立されましたが、こんなことをしていて国家の財政再建はどうなるのかと心配でなりません。いずれ消費税の増税は不可避であり、かえって今の子供たちへのしわ寄せとならざるを得ず、子育て支援設備や奨学金を充実して行く方が現状に合っていると思われれます。

このような中であつて、昨年本学園の中等部・高等部は時事通信社の教育奨励賞の努力賞を受賞しました(全国で27校が受賞)。土曜プログラムや礼法等の本校独自のカリキュラム

が創造性に富んだ特色ある教育として審査の対象となり、私立学校の受賞は本校のみでした。また不肖私が教育の振興に尽力し、特に優れた業績をあげたとして、東京都知事より教育功労の表彰を受けました。

さて、大学は本年度より子ども家庭福祉学科を子ども未来学部子ども未来学科とし、地域福祉学科を心理福祉学科に改組して2学部3学科体制となり、川崎市中原区の川崎市立新城幼稚園の跡地に新城みらい幼稚園と新城みらい保育園からなる田園調布学園大学みらいこども園を開設し、大学の子ども未来学科の教育研究の実践園としての役割を担うこととなりました。

また、中等部・高等部では国公立の受験にも対応すべくカリキュラムの改編の準備を進めています。

今後も「捨我精進」の建学の精神のもと、全身全霊をささげて努力してまいります。

**土曜プログラムを
訪ねて(4)**

理科ふしぎ不思議

くらりか副代表 安永 隆志

蔵前理科教室ふしぎ不思議(くらりか)は、東京工業大学の同窓会である(社)蔵前工業会の技術士会の公益事業として2005年にスタートし、児童館、小学校、中学校などで「寺子屋式出前理科教室」として児童や生徒たちに理科の面白さを楽しさを味わってもらっています。

機「ポンポン蒸気船」「ギンギシプロペラ」「浮沈子」の6講座を前期と後期の計12回行いました。身近な材料でメンバーが手作りした教材を使って楽しく工作し、実験をしていただき、背景にある理科の原理や法則が学べるようにすると共に、1人の講師と複数の助手により、限られた時間内に生徒さん全員に達成感を味わってもらえるように工夫しています。新しいテーマも順次開発しており、10年度の教室に反映する予定です。



ギンギシプロペラ



ポンポン蒸気船

田園調布学園中等部では2007年度から土曜プログラムの中で実施させていたしております。2009年度は「化学ペン」「備長炭電池」「紙飛行機」に続き、今年度は「ポンポン蒸気船」「ギンギシプロペラ」「浮沈子」の6講座を前期と後期の計12回行いました。身近な材料でメンバーが手作りした教材を使って楽しく工作し、実験をしていただき、背景にある理科の原理や法則が学べるようにすると共に、1人の講師と複数の助手により、限られた時間内に生徒さん全員に達成感を味わってもらえるように工夫しています。新しいテーマも順次開発しており、10年度の教室に反映する予定です。

未来を担う子どもたちの健やかな成長を願って

平成22年4月1日、田園調布学園大学みらいこども園が学校法人調布学園の一員として川崎市中原区下新城の地に開園しました。0歳(6ヶ月)から6歳までの子どもたちが真新しい園舎の中で元気に過ごしています。

本園は保育園(新城みらいこども園)と幼稚園(新城みらい幼稚園)の2つの機能を持つ施設です。また、地域の子育て支援センター「とも」も併設されています。待機児童数が多い当地区において、川崎市や地域の方々から大きな期待が寄せられています。

乳幼児期は人間形成の基礎を培う大切な時期です。保育園児と幼稚園児また、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊び、共に生活をしながら、多様な体験をし、豊かな心を育んでいきます。みらいこども園は乳幼児が健やかに育つ環境としてふさわしい場所となっています。

みらいこども園の理念は「一人一人が尊重され、生きる喜びがもてること」です。子どもたちがここで過ごすことが楽しいと心から感じられるようにしていきたいと思えます。そして、みらいこども園で出会う一人ひとりが大切な存在であるという認識のもとで、子どもも大人も互いに学び合い、支え合いながら成長していくことが願っています。

歩き始めたばかりの本園であります。皆様のご支援、ご指導をいただきながら、職員一丸となつて力を注いでまいります。どうぞ、よろしく願っています。



みらいこども園園長 長南 康子